

講義名	証券論	授業形態	
担当教員	福田 司文	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 5 時限
		単位数	2
		履修開始年次	3 年生
		ナンバリング・コード	ACC381

主題と概要

現代の証券市場を構成する株式と債券を中心に証券取引の仕組みと証券投資の問題を講義する。証券取引の仕組みは証券の制度面について理解を深めることを目的とし、証券投資は株式や債券を購入する際に応じたような点に注目すべきかに、また、株式、債券の評価、分析が重要である点を主に講義する。この2側面について統一的な理解が得られるよう基礎概念を中心に講義する。

到達目標

- (1) 企業における株式の役割が理解できるようになる。
- (2) 株式が取引される仕組みが理解できるようになる。
- (3) 価格変動する証券の性質が理解できるようになる。
- (4) 証券を売買する際に参考にすべき指標について理解できるようになる。

提出課題

レスポンス等を通じて毎回、簡単な理解確認をする。さらに、復習クイズを適宜課する。授業中に課題を課す場合も、宿題にする場合もある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

復習クイズは採点、返却する。返却を通じて自己の理解レベルを確認してください。

評価の基準

期末試験60%、復習クイズ、宿題課題で40%。

履修にあたっての注意・助言他

頻繁に出席はチェックするので出席を怠らないように。内容は金融や投資についてです。数字での理解、計算がたくさん出てきます。理解がないと計算方法も分かりませんので、くどいですが出席を怠らないように。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

配付資料によって授業を進める。

参考図書
 横原・塚下・岡村・山口・月岡・北島、『新・入門証券論』、有斐閣。
 川北、『テキスト株式・債券投資』、中央経済社。

授業計画

1. 購入：証券の役割
 予習内容 初回は予習の必要はない。
 復習内容 配布プリントを活用して証券の内容の理解を深めておく。(240分)
2. 経済活動と金融システム
 予習内容 参考図書等で関連する部分について理解を深めておく。(60分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(180分)
3. 株式の種類、株式売買
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(150分)
4. 株式 上場制度、特約的な取引(1)
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(150分)
5. 株式 上場制度、特約的な取引(2)
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(150分)
6. 株式の種類と様々な発行方法
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(150分)
7. 財務諸表
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。(150分)
8. 財務諸表と投資尺度
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
9. 株式のリスク
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
10. 株値の予測 効率的市場仮説の周辺
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
11. 株値の予測 伝統的な株値予測
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
12. 債券投資
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
13. 投資信託の仕組み
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
14. 投資信託の種類、考え方
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)
 復習内容 配布プリントを活用して復習をする。課題が出された場合は課題に取り組み。特に計算方法を十分に理解しておく。(150分)
15. まとめ
 予習内容 配布プリントで未説明部分について読み、疑問点等をまとめておく(90分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経営学科共通のDPとの関係
 資産運用業界に動向について理解できるようなる。14回の投資信託で言及する。
 会計
 目標(3)を達成することでDP 財務諸表の情報を分析できるようなる。
 目標(1)、(2)、(4)を達成することで財務上の戦略構築に貢献できる。
 現代経済学
 現代社会の金融的側面からの社会的諸問題を考察することができるようになる。授業計画2回～5回の株式売買、取引方法、株式種類、発行方法で諸問題に言及する。
 到達目標(1)～(4)を達成することで、現代社会の金融面が抱える問題を理解し、自分なりの改善策を提案することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考